

# 新北市藝遊

日文版

新北市ニューアート新北市博物館と芸術文化情報

01 JAN. 2019



## 2019 新北市 新春の文化スポットめぐり

会期 01/28-02/19

場所 新北市博物館ファミリーと芸術文化施設



花が咲き始める暖かい春はお出かけに最適です。新たな気分で新春を迎えるためにも、ぜひ旧正月の貴重な連休を利用し、気楽な小旅行に出かけ、ご家族やご友人と新年の祝福を交わしながら、絆を深め合ってください。毎年この時期になると、新北市政府管轄の博物館では、文化と観光を結び付けた「新春の文化スポットめぐり」と題するシリーズイベントが開催されます。

亥年にあたる今年、鶯歌陶磁博物館、十三行博物館、淡水古蹟博物館、黄金博物館、坪林茶業博物館、林本源園邸、空軍三重一村、435 芸文特区、府中 15 などの芸術文化施設で、1 月の中下旬より、楽しいインタラクティブゲーム、手作り活動、見応えのあるステージプログラムなど、多彩なイベントが続々と登場します。

さらに、旧暦 1 月 2 日から 6 日までは、豊富な景品もご用意しておりますので、旧正月の期間中は、ぜひ新北博物館ファミリーを回りながら、1 年分の幸運を呼び込んでください。

ほかにも、新北市政府では新春揮毫イベントを予定しており、縁起の良い春聯で新年の喜びムードを盛り上げます。また、空軍三重一村の開園に合わせ、新春イベントの開催範囲を拡大するほか、様々な驚きの景品も皆様をお待ちしております。以上のシリーズイベントは準備と会場の広さの関係で、一部のイベントはあらかじめご予約いただく必要があります。詳しくは新北市政府文化局公式サイト <https://www.culture.ntpc.gov.tw> をご覧ください。

## 枠の外側—台湾の映画職人特別展

会期 即日より 03/03 まで

場所 3 階、4 階、5 階展示室



職人とは専門的な技術を持ち、ひたすら自分の持ち場で創作を続ける人を指します。一方映画とは、一般に知られることのない創作者が、スクリーンの外側で作出した努力の結晶です。7 周年記念を迎える府中 15 では、そんな映画職人の持ち物や、再現された撮影現場などを展示する

「枠の外側：台湾の映画職人特別展」を開催します。映画ファンも映画産業に興味のある方々もぜひお越しいただき、一緒に映画職人に敬意を表しましょう。

### 板橋区 府中 15

バス→ 停「府中駅」か「板橋区公所」で下車し、徒歩約 3 分で到着。

MRT → 板南線に乗車し、府中駅で下車。2 番出口を右へ進み、徒歩約 40 m で到着。もしくは 1 番出口を右へ進み、道を渡って直進。約 3 分で到着。



DATA 新北市板橋区府中路 15 号  
02-2968-3600#211  
09:00-18:00 (第一月曜日休館)

## 園内ガイドツアー

会期 即日より

場所 新北市国定古跡林本源園邸



林本源園邸の「園」は庭園エリア、「邸」は隣の三落大厝（三列並びの大邸宅）を指します。台湾で最もよく保存されたこの庭園建築について、園内をこよなく愛するボランティアの方々が親切かつ丁寧に解説を行い、ここから起こった歴史的出来事を皆様にお伝えします。三落大厝は毎週月曜が休館日。庭園

エリアは休園日以外は毎日開園しており、1 日 4 回の定時ガイドツアー（休日は 5 回）が開催されています。ガイドツアーを別途予約する場合は、公式サイト上の予約フォームに記入し、[linfamily001@gmail.com](mailto:linfamily001@gmail.com) まで送信してください。伝統建築に興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。

### 板橋区 新北市国定古跡林本源園邸

自動車 → 台北市和平西路三段から、華江橋を渡って文化路を直進し、民権路を右折したらすぐ左折します。運動場に沿って進むと到着します。

バス → 264、307、310、701、702 に乗車し林家花園駅で下車いただくと、板橋林家花園に到着します。

MRT → 板南線（青ライン）「府中駅」で下車し、1 番出口から徒歩約 8 分。



DATA 新北市板橋区西門街 9 号  
02-2965-3061#23  
09:00-17:00 (第一月曜日休館)

## 2018 台湾セラミックビエンナーレ

会期 即日より 03/03 まで

場所 301-304 号室



世界的な四大陶芸ビエンナーレの一つが、「陶芸の人文的回帰・芸術の精神を原点から語る」をテーマに鶯歌セラミック博物館で盛大に開催されています。開催からすでに 7 回になるセラミックビエンナーレにおいて、初めての台湾人、そして世界的に有名な陶芸家 邵婷如がキュレーターを担当しました。世界 18 ヶ国 43 人の陶芸家を招き、80 組の作品を展示して、創作と時代の変遷の間の脈絡を深く研究します。台湾の古参の方々や各国の重鎮クラスの陶芸家が出展しているだけでなく、さらにアジア各国の大きな博物館から所蔵品を借り受け、これまでを凌ぐ精彩を放っています。

### 鶯歌区 新北市立鶯歌陶磁博物館

自動車 → 国道 3 号線高速道路三鶯インターチェンジ（交流道）を下りて、鶯歌方向へ進み、三鶯橋を渡って文化路公共駐車場へ。

バス → 台北客運バス 702、851、917、981 に乗車するか、桃園客運バス（鶯歌方向）に乗車。

鉄道 → 台湾鉄道の区間車に乗車して鶯歌駅にて下車。文化路出口から駅を出て、徒歩約 10 分。



DATA 新北市鶯歌区文化路 200 号  
02-8677-2727  
月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00 (第一月曜日休館)



## 原典—台湾原住民族四季の祭典特別展

会期 即日より 06/23 まで

場所 第一特別展示室



祭典は台湾原住民にとって重要な文化の核心であり、無形文化財における価値の計り知れない宝物でもあります。原住民の人生の各段階を象徴するだけでなく、その文化を知る上で重要な媒介にもなります。本特別展では四季の時系列に沿って、プユマ族の大獵祭、ツォウ族の戦祭、アミ族の年祭、タロコ族の感謝祭について紹介し、背後にある壮大な文化の流れと思考様式を展示することで、その無形文化財としての価値と意義を見学者にお伝えします。

## 鉞・事・紀—水金九鉞山現代アート展

会期 即日より 03/03 まで

場所 錬金楼 1 階特別展示室、金水特別展示室、四連棟、錬金広場、黄金館 2 階



古代ローマの有名な詩人 オウィディウスは人類の世紀を金、銀、銅、鉄の4つの紀元に分けました。世界各地の歴史的变化は、ほぼ同時に類似した原型を形成していますが、そのうち特に黒鉄時代には、限らない欲望が形成され、人間は境界によって土地を分けし国家とし、また鉞物を掘り出す技術を学びました。今回出展した芸術家の多くが鉞業の歴史を探究する中で手掛かりを得ています。同時にまた時代という大きな車輪の下で見過ごされた歴史を掘り起こし、人、物質、地理的空間とまだ温もりが残る証拠によって、人の感覚により近い現実を新たに描いたのです。

## 新北市客家文化園區

会期 即日より

場所 新北市客家文化園區



台北盆地は、漳州人及び客家の人々が最初に入植開拓した場所であり。新北市庁は市内の客家同胞の力を凝集し、客家の歴史と文化をわかりやすく、三峡区に「新北市客家文化園區」をオープンいたしました。新基軸を打ち出すほか、園内に生命力を与えるよう強調します。「都会の客家」を中心に、「文化の革新」をメインテ

ーマとします。研究・保存・客家文化の普及・会合・リゾートなどを兼ねて、色んな機能を計画します。施設には、芸靚坊、映像ホール、学習センター、会議室、禾埕広場、常設展示室、巧之芸廊、蔵書室、演芸ホール、レストランと売店を設営します。

## 共茗—世界茶文化の旅

会期 即日より 11/10 まで

場所 展示館 B1



東洋から西洋に広まった中国発祥のお茶は、今や世界中で愛される大衆的な飲み物となり、民族や国ごとに、様々な特色を持った茶文化が育まれています。そこで、坪林茶業博物館は今回、世界の茶文化に関する特別展を心を込めて企画。「共茗」をテーマに、世界各地の面白い茶文化を皆様にご覧に入れます。モンゴル・チベット民族、日本、ロシア、トルコ、イラン、アラスカなどのお茶の飲

み方を一度にご覧いただけるほか、会場には異国情緒あふれる茶室や、異国の衣装に着替えて楽しめるインタラクティブ体験もあり、賑やかな世界茶文化カーニバルさながらの展示をお楽しみいただけます。

## 八里区 新北市立十三行博物館

自動車→台 15 号線：関渡大橋→台 15 号線を八里方向（龍米路）へ→中華路→文昌路→博物館路→十三行博物館

MRT → 1. 淡水線「淡水駅」→渡し船→紅 13 番バス→十三行博物館、または、渡し船→紅 22 番バス、704 番バス→仁愛路口→徒歩 5 分→十三行博物館。  
2. 淡水線「関渡駅」紅 13 番バス→十三行博物館、または紅 22 番バス→仁愛路口→徒歩 5 分→十三行博物館。



DATA 新北市八里区博物館路 200 号

02-2619-1313

09:30-17:00（第一月曜日休館）

## 瑞芳区 新北市立黄金博物館

1. 台北—金瓜石：台北 MRT「忠孝復興」駅 2 番出口前にて基隆客運（バス）1062 系統に乗車→瑞芳、九份を経て終点「金瓜石」にて下車。  
2. 基隆—金瓜石：鉄道「基隆」駅前の「基隆火車站（仁祥診所）」停留所で基隆客運（バス）の 788 系統に乗車→瑞芳、九份を経て「金瓜石」にて下車。

鉄道→「台北」駅で東部幹線の宜蘭・花蓮方面行き列車に乗車→「瑞芳」駅にて下車→新北市警察瑞芳分局協（区民広場）の「地政事務所前」停留所で基隆客運（バス）の 1062 系統、788 系統に乗車→「金瓜石」にて下車。



DATA 新北市瑞芳区金光路 8 号

02-2496-2800

月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）

## 三峡区 新北市客家文化園區

バス→台北客運バス 702 番、851 番（休日運休）、917 番、981 三鶯線先導バス、桃園客運バス 5005 番（三峡-桃園）。

鉄道→台湾鉄道「鶯歌站」駅で下車し、桃園客運バス 5005 番（三峡-桃園）または、台北客運バス 981 三鶯線先導バスに乗換え。

MRT → 1. 板南線（青ライン）「永寧駅」→台北客運バス 917、981 三鶯線先導バス。  
2. 板南線（青ライン）「頂埔駅」→台北客運バス 981 三鶯線先導バス。



DATA 新北市三峡区隆恩街 239 号

02-2672-9996

月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00（第一月曜日休館）

## 坪林区 新北市坪林茶業博物館

自動車→新店または宜蘭から省道台 9 号線を通り、北宜線または国道 5 号に入ると到着します。景美からは 106 線で木柵、深坑、石碇 106 乙線道を通り、關瀾から坪林行きの産業道路に入れば到着します。

MRT → 新店駅で下車し、923 または緑 12 の新店客運バスに乗り換えて坪林中学駅で下車、徒歩約 5 分で到着します。



DATA 新北市坪林区水德里水尊凌坑 19-1 号

02-2665-6035

月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-17:30（第一月曜日休館）

## 陳持平・劉立業両先生による視覚芸術連合展

会期 01/04-03/03

場所 得忌利士洋行前棟



多様なテーマの展示内容が、体系的な配列のもとで、あたかも人生の旅路で起こった出来事を語っているように感じられます。ご年配の方々に無限の思い出を残すと同時に、若者たちの思考にもインスピレーションを与えるこの連合展では、深い思いが込められた両先生の作品が、豊富で強烈な色彩で見学者の五感を刺激し、線や模様を通して、人々を絵画の物語の中に導きいられます。

## 淡水区 新北市立淡水古跡博物館

得忌利士洋行前棟

MRT → 淡水駅で下車後、857 番バスまたは紅 26 番バスか 836 番遊園バスに乗り換え、「小白宮」（または「紅毛城」）で下車し、逆の方向に歩いて約 200 メートル進むと到着します。

自動車→お車かバイクでお越しの方は、紅毛城有料駐車場に駐車した後、逆の方向へ約 500 メートル歩くと到着します。



DATA 新北市淡水区中正路 316 号

02-2629-9522

月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）